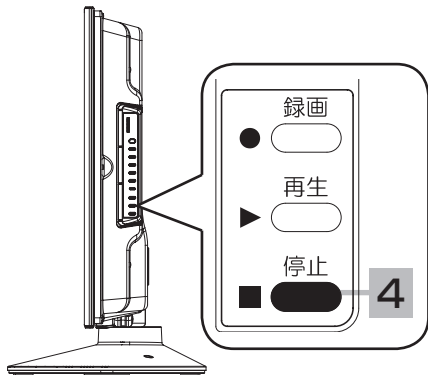
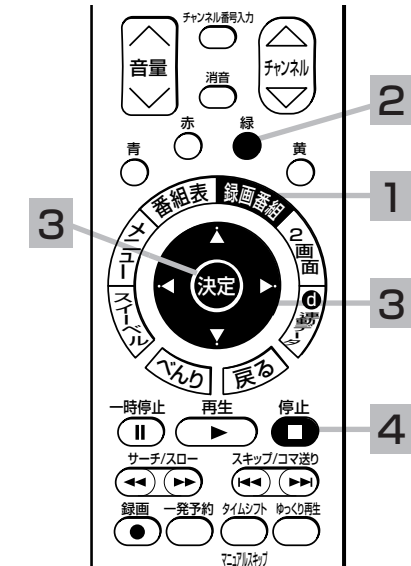
録画した番組を楽しむ

録画した番組を再生する

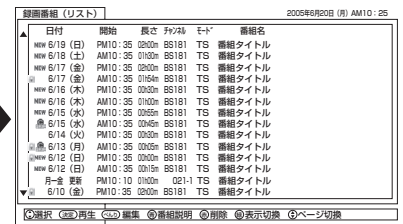
HDD に録画された番組を選んで再生するには下記の方法があります。
●サムネイル一覧から選ぶ
●リスト一覧から選ぶ

1 録画番組ボタンを押す

録画した番組の一覧が表示されます。

最後に表示した形の一覧表示が次回表示のときに表示されます。

2 緑ボタンを押し、お好みの表示に切り換える

ボタンを押すたびに、
サムネイル一覧→リスト一覧…
に表示が切り換わります。

録画番組（サムネイル）の画面　録画番組（リスト）の画面

3 ◎で番組を選び、決定ボタンを押す

選択した番組の再生を開始します。

録画番組（サムネイル）画面のとき

●リジューム再生設定を「する」に設定している場合は、前回再生を停止した場面から再生します。
●青ボタン：選択した番組の番組説明を表示します。（デジタル放送の番組のみ）
●チャンネルボタン：ページを切り換えます。（番組が複数ページある場合）

4 再生を停止するには

停止ボタンを押す

再生、停止マークが表示されます。

お知らせ

●録画番組を再生中に、放送チャンネルへの切り換えはできません。
●録画中の番組は、録画番組リストに表示されません。
●放送を視聴中にリモコンまたは本体の再生ボタンで録画した番組を再生することができます。この場合、最後に録画または再生した番組が再生されます。
●リジューム設定 (①準備編 101) を「する」にしていると、再生を停止したところから再生が開始されます。
●番組録画中にも再生することができます。録画と再生を同時に行なっている場合は、停止ボタンを押すと再生が停止します。もう一度停止ボタンを押すと録画が停止します。(予約録画、クイックタイマー録画を除く)
●写真を見る 79、番組表 28、i.LINK 操作画面 82を表示しているときは、再生操作はできません 。
●再生中に録画番組ボタンを押して、録画番組一覧を表示することができます。この場合、再生は停止します。

サムネイル一覧画面について

前ページ表示
表示がある場合、チャンネルアップ (▲) ボタンで前ページへ切り換えができます。

サムネイル表示
録画した番組のシーンを表示します。
カーソルで選択した番組は先頭からの再生画面に切り換わります。
サムネイル設定でシーンを変更することができます。

次ページ表示
表示がある場合、チャンネルダウン (▼) ボタンで次ページへ切り換えができます。

録画番組
決定ボタンで再生を開始することができます。

録画した番組を楽しむ

お知らせ

- 一度もサムネイル表示をしていない録画番組は、表示に時間がかかります。
- 番組タイトルはデジタル放送を録画した場合に表示されます。アナログ放送、外部入力録画では表示されません。
- サムネイル一覧表示をして選択番組を再生中は、再生している映像がモニター出力端子 (①準備編 35) から出力されます 。
- サムネイル作成時間 (①準備編 101) を 0 分に設定した場合、実際の作成時間が数秒ずれる場合があります 。
- サムネイル一覧表示では更新録画 45 された番組に更新の表示が出ません。更新録画番組はリスト一覧画面でご確認ください 。

録画した番組を再生する

リスト一覧画面について

前ページ表示
表示がある場合、チャンネルアップ (▲) ボタンで前ページへ切り換えができます。

録画番組の日付、開始時間、録画時間、チャンネル、録画モード、番組タイトルを表示します。
決定ボタンで再生を開始することができます。

次ページ表示
表示がある場合、チャンネルダウン (▼) ボタンで次ページへ切り換えができます。

マークについて

NEW：録画した後、一度も再生していない番組

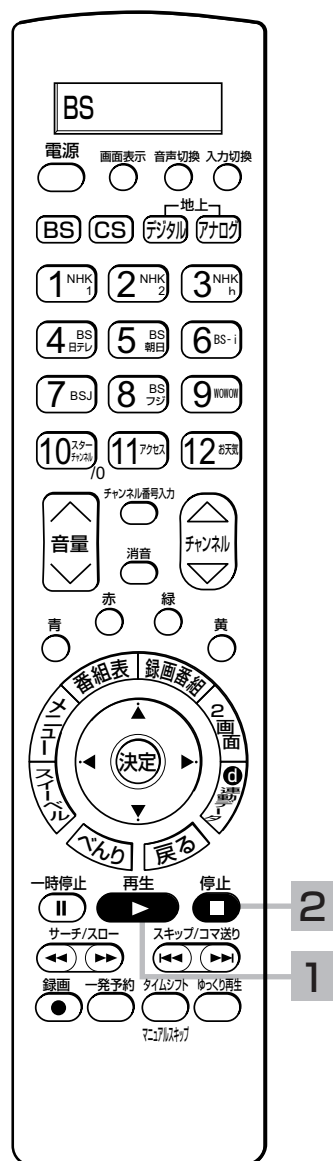
：通常の操作では削除できない番組

：チャプター設定した番組（チャプター設定は 60 ）

お知らせ

番組タイトルはデジタル放送を録画した場合に表示されます。アナログ放送、外部入力録画では表示されません。

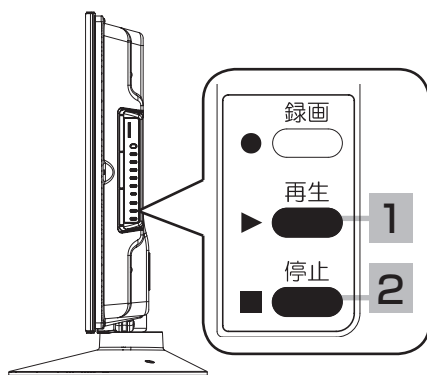
番組を録画しながら再生する（追っかけ再生）

録画中の番組を同時に再生することができます。再生中は早送り、スロー再生などの操作ができます。

1 番組録画中に、再生ボタンを押す

録画中の番組の先頭から再生が始まります。
再生中は早送り、スロー再生などの操作ができます。

2 再生を停止するには

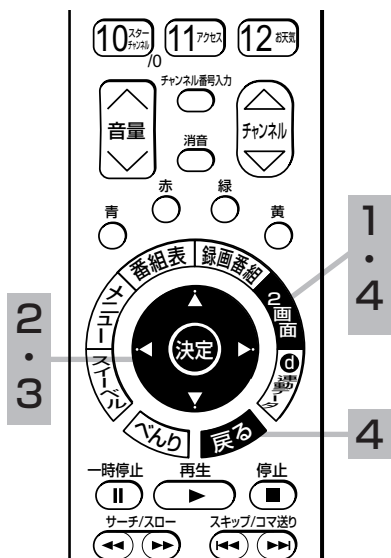
停止ボタンを押す

録画は継続されます。

お知らせ

早送り、1.5 倍速再生で録画しているシーンに近づくと、再生は一時停止になります。

録画した番組を再生する

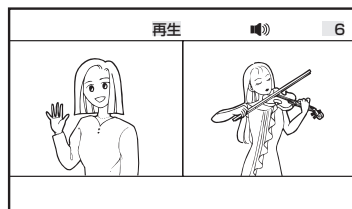
録画、再生中に 2 画面を楽しむ

番組録画中や再生中に同時に放送中の番組をお楽しみになりたいときに便利な機能です 。

1 録画または再生中に 2 画面ボタンを押す

録画または再生中の番組と放送中の番組が 2 画面表示されます 。

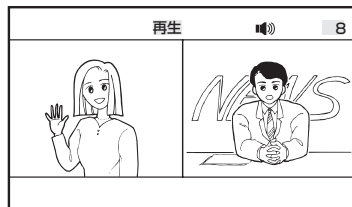
2 画面切り換え

で左画面と右画面を切り換える。

表示が選ばれた画面を表示します 。

再生中の 2 画面表示例

再生画面の選択中は、ボタン操作でサーチ、一時停止などの特殊再生ができます 。

3 チャンネル切り換え

表示が放送番組画面のとき、でチャンネルを切り換える。

録画または再生画面は、チャンネル切り換えできません。

4 もう一度 2 画面ボタンを押す

1 画面となって 2 画面を終了します。

戻るボタンを押して、2 画面を終了することもできます。

お知らせ

番組録画中や再生中の 2 画面について

番組録画中や再生中に 2 画面表示にした場合、また 2 画面表示から 1 画面に戻った場合、画面表示は下記のようになっています 。

現在の状態	2 画面表示にした場合		1 画面表示に戻った場合	モニター出力
	左画面	右画面		
再生中	再生画面	最後に視聴していたチャンネルの番組	再生画面	が表示している画面
見ている番組を録画中	視聴中番組	録画中の番組	が表示している画面	録画中の番組
裏番組を録画中	視聴中番組	録画中の番組	が表示している画面	録画中の番組
再生 / 録画中	再生画面	録画中の番組	再生画面	録画中の番組

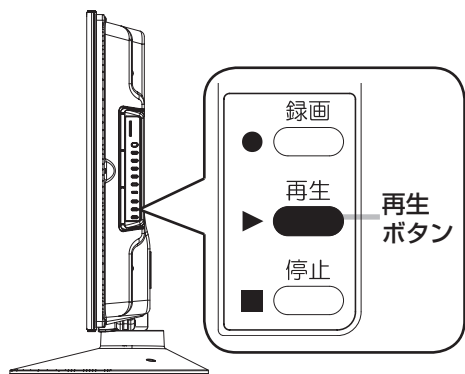
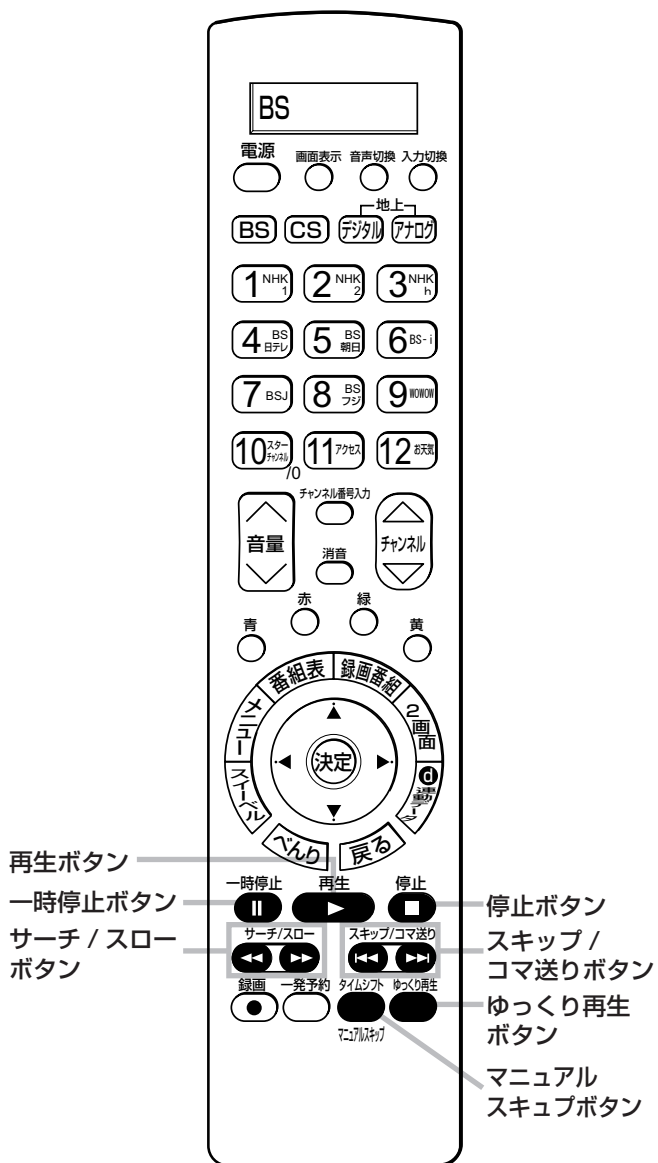
- ●アナログ放送の録画中は、左画面にはデジタル放送の番組が表示されます。
- ●録画中の番組や再生画面ではチャンネル切り換えができません 。
- ●モニター出力端子からは選択している画面の映像と音声が出力されます 。
  録画または予約録画時は、録画している番組の映像･音声が出力されます。
- ● 2 画面表示で再生を停止すると、右側の画面が 1 画面表示されます。
- ●タイムシフトモードでは再生中画面と放送中画面の 2 画面表示になります。
- ●放送番組と録画番組の 2 画面表示中に停止ボタンを押すと、選択画面にかかわらず録画を停止します。(予約録画、クイックタイマー録画を除く)
- ●特殊再生 53 、54 中に表示を 1 画面から 2 画面に切り換えた場合、および 2 画面から 1 画面に切り換えた場合は、再生画面は通常再生になります。

いろいろな再生のしかた

録画

再生

停止

再生
ボタン

ある場面を止めて見る

再生中に、一時停止ボタンを押す

●一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
●一時停止が約 1 分間つづくと、自動的に再生に戻ります。

1.5 倍速再生

再生中に、再生ボタンを押す

●もう一度、再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
●音声は聞きづらくなることがあります。

ゆっくり再生

再生中にゆっくり再生ボタンを押す

●約 0.8 倍速のスピードで再生できます。
●もう一度ゆっくり再生ボタンを押すか、再生ボタンを押すと通常の再生に戻ります。

画像を見ながら場面を探す (サーチ)

再生中に、サーチ（▶▶）ボタン
またはサーチ（◀◀）ボタンを押す

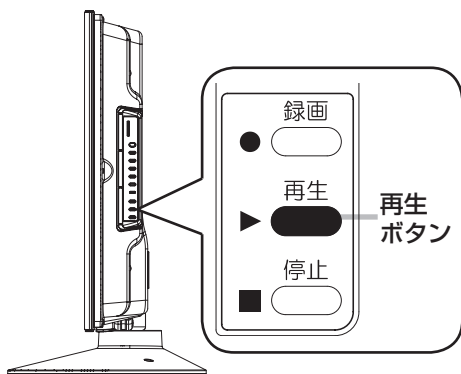
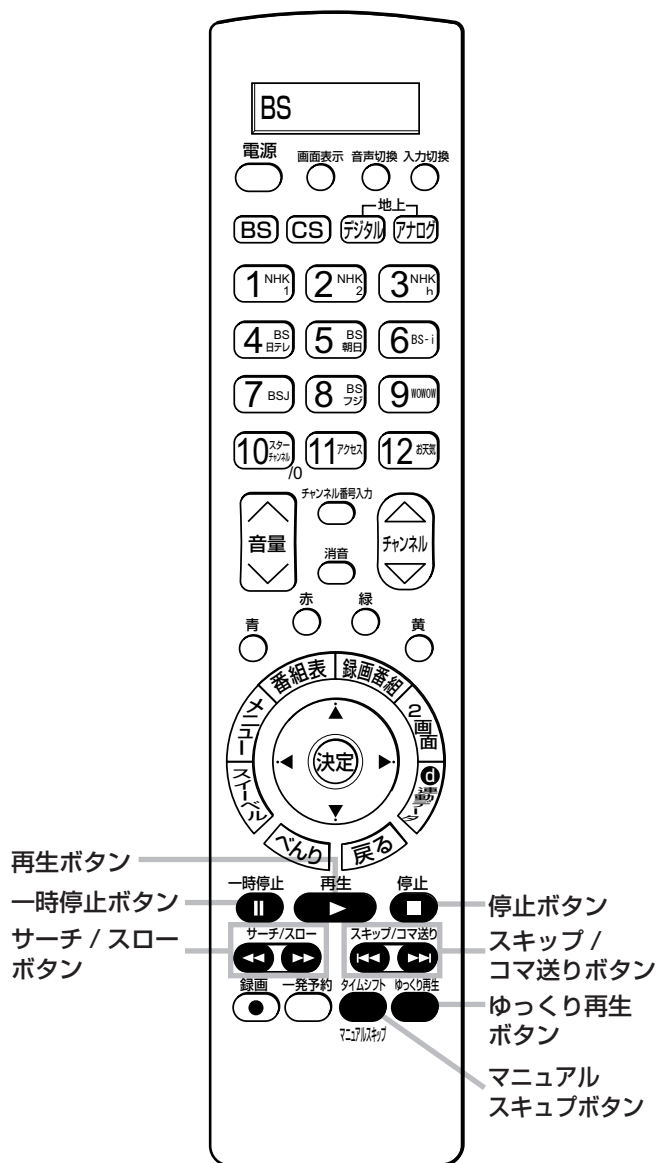
押すごとに、× 2 → × 10 → × 30 → × 60 の順に速さを切り換えることができます。

スロー再生で見る

一時停止中に、サーチ（▶▶）ボタンを押す

押すごとに、1/16 → 1/8 → 1/2 の順に速さを切り換えることができます。

録画した番組を再生する

いろいろな再生のしかた（つづき）

コマ送りして見る

一時停止中に、スキップ（▶▶|）ボタンを押す

押すごとにコマ送りします

チャプターを頭出しして見る

再生中に、チャプタースキップ（▶▶|）ボタンまたはチャプタースキップ（|◀◀）ボタンを押す

スキップ/コマ送り

●チャプタースキップ（▶▶|）：次のチャプターの先頭から再生します。
次のチャプターがない場合はチャプタースキップしません。
●チャプタースキップ（|◀◀）：再生中のチャプターの先頭から再生します。
チャプターが設定されていない場合は番組の先頭から再生します。

すこしスキップして見る（マニュアルスキップ）

再生中、1.5 倍速再生中またはゆっくり再生中に、マニュアルスキップボタンを押す

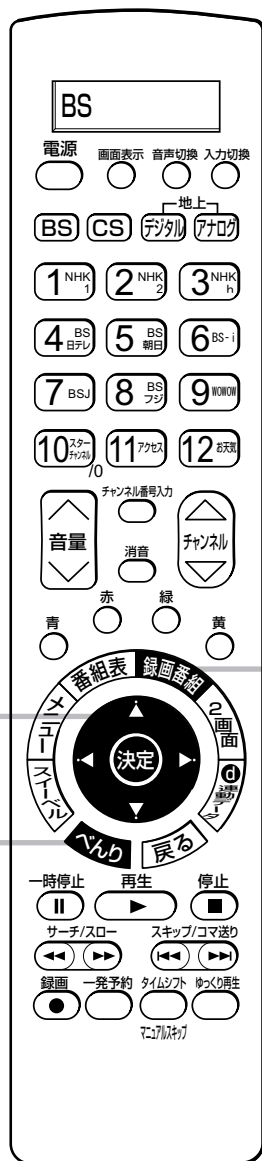
押すごとに、約 30 秒スキップした場面から再生します。

お知らせ

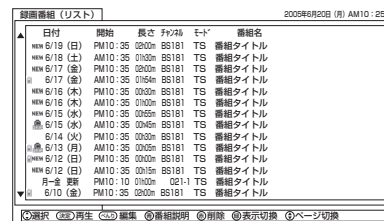
●逆方向のスロー再生はできません。
● 1.5 倍速再生またはゆっくり再生以外のモードでは音声は出力されません。
●録画した番組によっては、まれに「サーチ」などが正常に動作しない場合があります。
●逆方向のコマ送りはできません。
●マニュアルスキップ動作後の再生速度は、通常の再生になります。

録画した番組を編集する

削除ロックを設定する

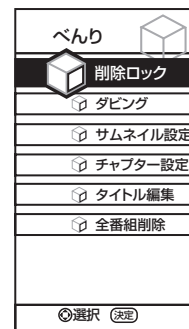
大切な録画番組を削除されないように保護 (ロック) することができます。

1 録画番組ボタンを押す

録画した番組の一覧が表示されます。48

録画番組（サムネイル）の画面

録画番組（リスト）の画面

2 で番組を選び、べんりボタンを押す

3 で「削除ロック」を選び、決定ボタンを押す

選択した番組を削除ロック状態に設定します。
設定した番組にマークが表示されます。
削除ロックを設定すると番組は保護され、削除することができなくなります。

削除ロックを解除するには、すでに設定されている番組を選んで同じように操作します。

お知らせ

HDD 初期化 (①準備編 101) をすると削除ロックした番組も消去されるのでご注意ください。

録画した番組を編集する

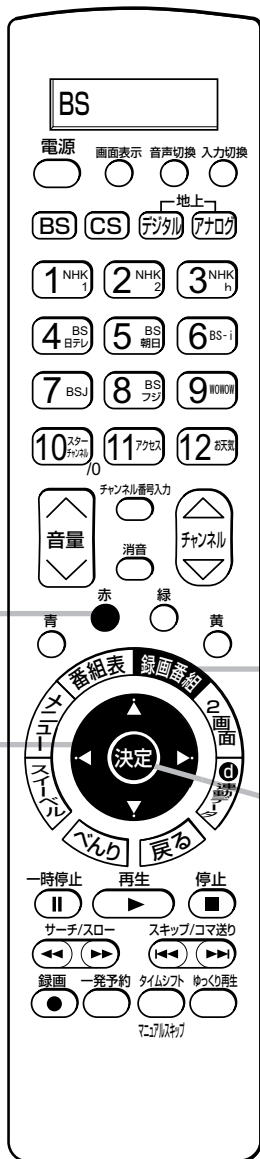
録画番組を削除する

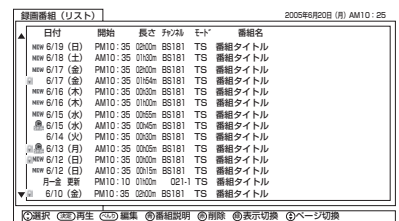
消去したい番組を選んで削除することができます。

2

2・3

1

3

1 録画番組ボタンを押す

録画した番組の一覧が表示されます。48

録画番組（サムネイル）の画面

録画番組（リスト）の画面

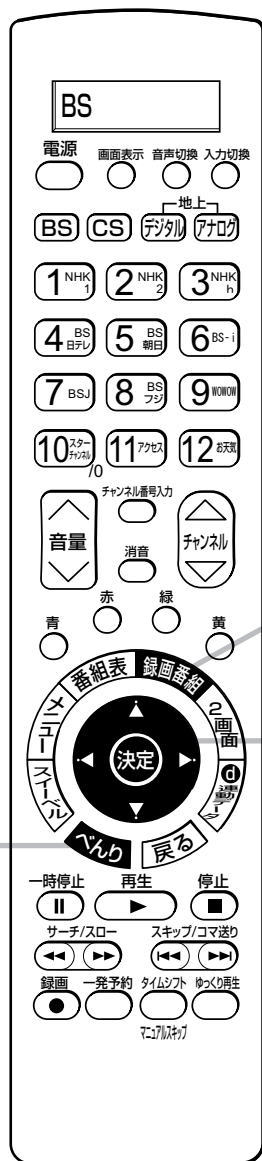
2 ◎で削除番組を選び、赤ボタンを押す

削除確認が表示されます。

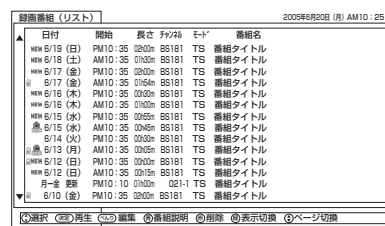
3 ◎で「はい」を選び、決定ボタンを押す

お知らせ

HDD 録画中でも、他の録画済み番組を削除することができます。

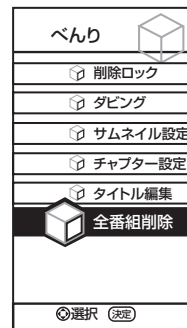
録画番組をすべて削除する

1 録画番組ボタンを押す

録画した番組の一覧が表示されます。48

録画番組（サムネイル）の画面

録画番組（リスト）の画面

2 べんりボタンを押す

3 ◯で「全番組削除」を選び、決定ボタンを押す

削除確認が表示されます。
すべて削除するときは「はい」を選んで決定ボタンを押します。

4 もう一度確認画面が表示される

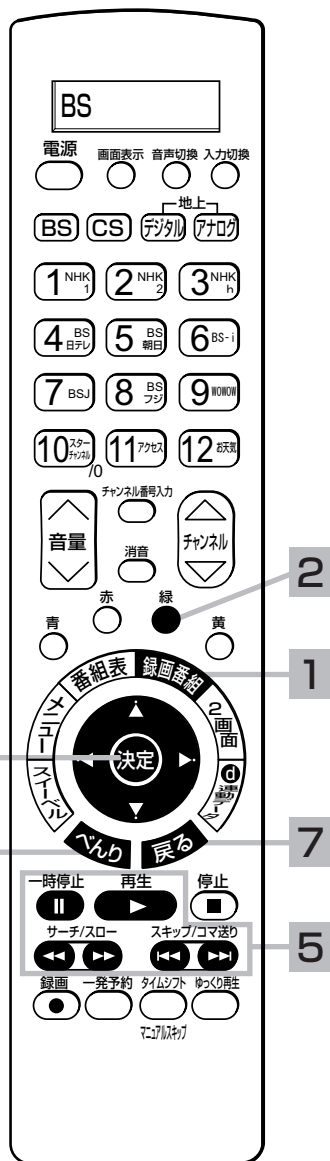
もう一度「はい」を選んで決定ボタンを押す。

お知らせ

- ●全番組削除を実行しても削除ロック 55 が設定されている番組は削除されません。削除したい番組は、ロックを解除してから本操作を行なってください。
- ●録画中の番組は全番組削除を実行しても削除されませんが、全番組削除を実行中に予約録画が終了すると、録画していた番組が削除される場合がありますのでご注意ください。

録画した番組を編集する

お好みの場面をサムネイルに設定する

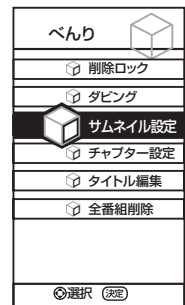
録画した番組のお好みのシーンを選び、サムネイルに設定することができます。

1 録画番組ボタンを押す

2 サムネイル一覧が表示されるまで緑ボタンを押す

3 ◎で録画番組を選び、べんりボタンを押す

べんりメニュー画面が表示されます。

4 ◎で「サムネイル設定」を選び、決定ボタンを押す

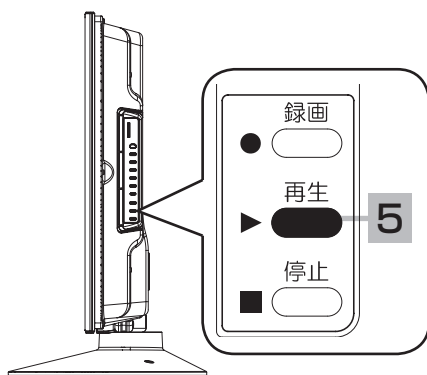
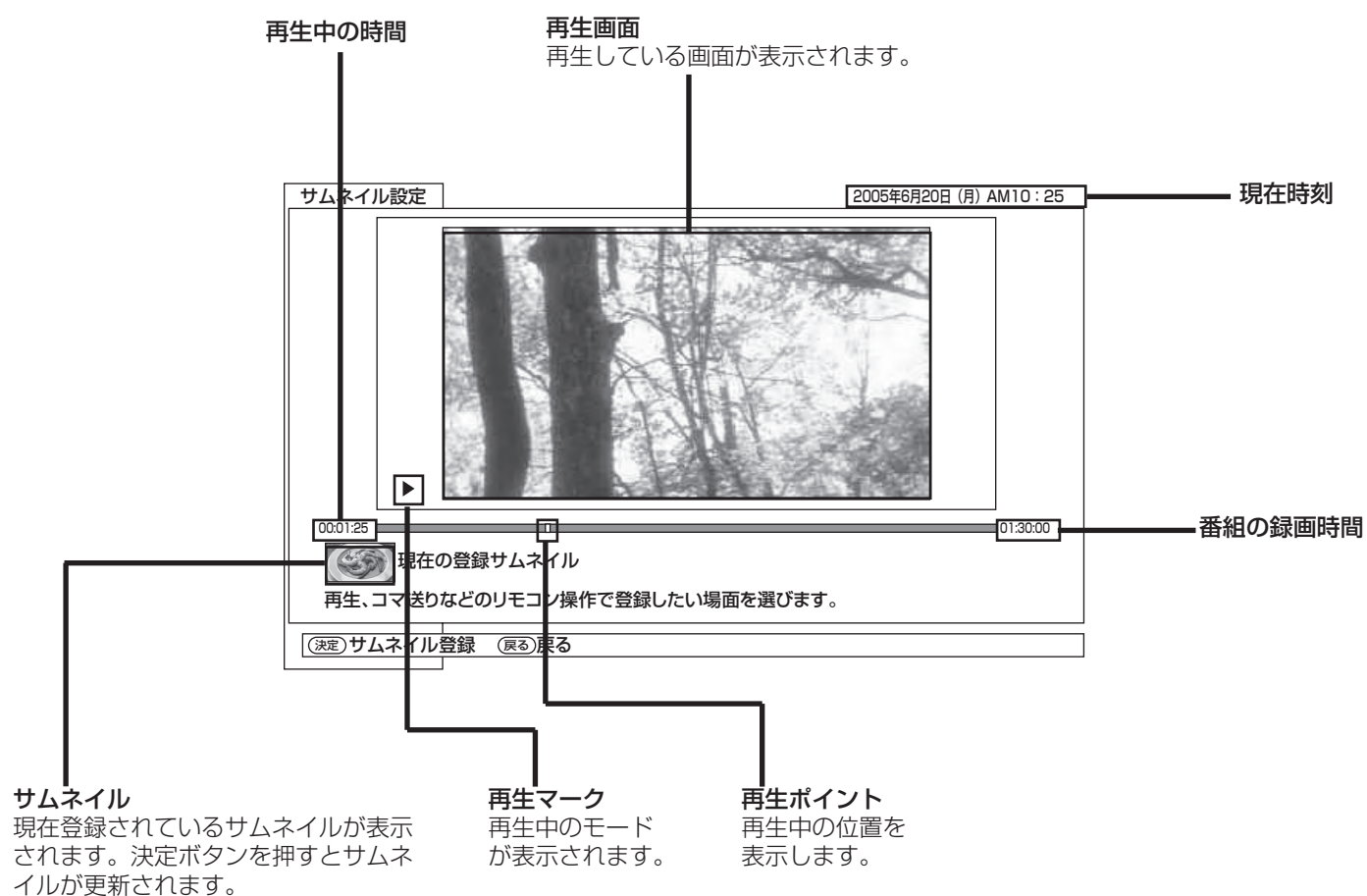
サムネイル設定画面が表示されます。

5 再生ボタンを押す

サーチ（▶▶）、サーチ（◀◀）、一時停止、コマ送りなどのボタンを使ってお好みの場面を選びます。

6 決定ボタンを押す

新しいサムネイルが設定されます。

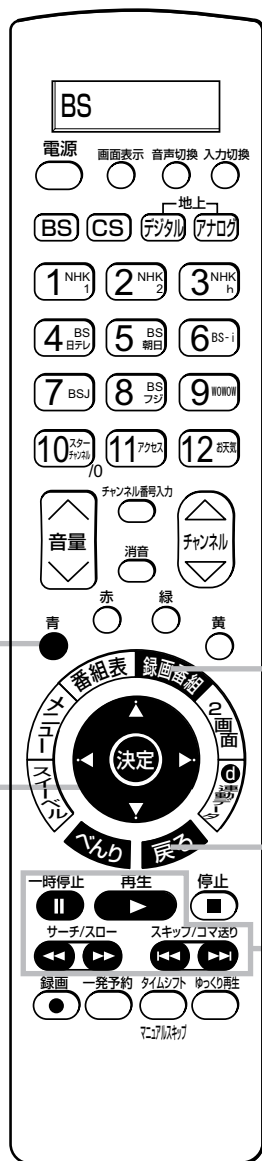
7 戻るボタンを押す

サムネイル設定を終了します。

サムネイル設定画面について

お知らせ

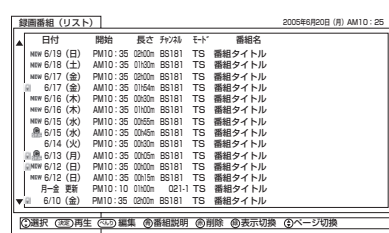
録画後初めてサムネイルを表示した時は、メニューの HDD 設定 (①準備編 101) のサムネイル作成時間の設定時間のサムネイルが表示されます。

録画した番組を編集する

チャプターを設定する

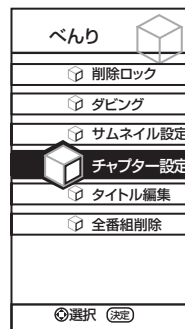
番組内の不要な部分をスキップして再生する設定を行うことができます。

1 録画番組ボタンを押す

録画した番組の一覧が表示されます。48

録画番組（サムネイル）の画面

録画番組（リスト）の画面

2 で番組を選び、べんりボタンを押す

3 で「チャプター設定」を選び、決定ボタンを押す

チャプター設定画面が表示されます。

4 お好みの場面を選び、一時停止ボタンを押す

再生、サーチ（▶▶）、サーチ（◀◀）、一時停止、コマ送りなどのボタンを使ってお好みの場面を選びます。

5 決定ボタンを押す

一時停止した場面がチャプターポイントとして登録されます。

●チャプターの開始場面が表示されます。
●再生中に決定ボタンを押してもチャプターポイントを登録することができます。

6 4、5の操作を繰り返して、必要なチャプターポイントの登録を行なう

7 ◀▶でスキップするチャプターを選び、青ボタンを押す

スキップ設定されたチャプターにスキップマークが表示されます。

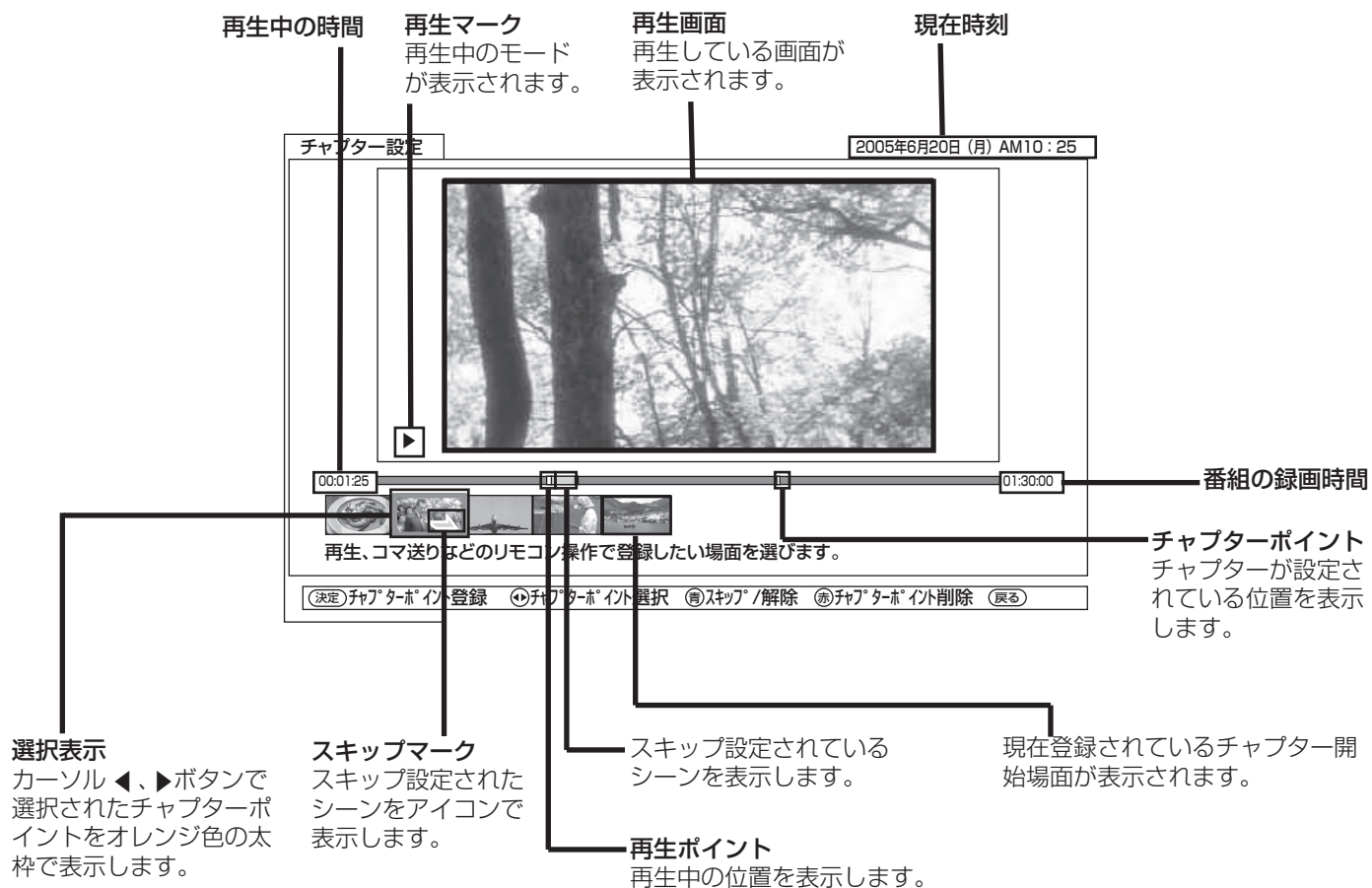
●スキップしたいチャプターを繰り返し選択して設定します。
●スキップされたチャプターを選び、青ボタンを押すと、スキップが解除されます。
●赤ボタンを押すと、チャプターポイントが削除され、スキップ設定も削除されます。

8 戻るボタンを押す

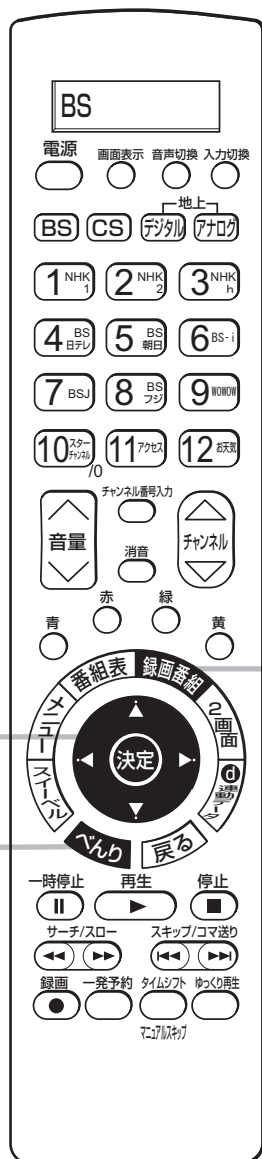
チャプター設定を終了します。

お知らせ

●一つの番組で最大 99 個、チャプターを設定できます。
●全番組で設定できるチャプターは最大 999 個です。
●本機では、録画番組の分割、結合、部分削除等の編集はできません。
●チャプターポイントと次のチャプターポイントとの間隔は 5 秒以上必要です。チャプターポイントの間隔が 5 秒以上ない場合は、チャプターポイントを設定することはできません 。

チャプター設定画面について

録画した番組を編集する

ダビングする

HDD に録画した番組を i.LINK 接続した D-VHS へダビングすることができます。
録画した番組が「1 回だけ録画可能 (1 回コピー可)」の場合はダビングではなく移動になります。

1 録画番組ボタンを押す

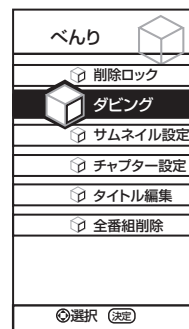
録画した番組の一覧が表示されます。48

録画番組（サムネイル）の画面

録画番組（リスト）の画面

2 で番組を選び、べんりボタンを押す

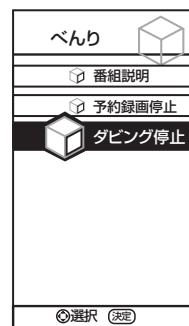
3 で「ダビング」を選び、決定ボタンを押す

ダビング画面が表示され、i.LINK 機器が正しく接続されている場合、「ダビング開始」が選択状態になります。

4 決定ボタンを押す

選択した番組の再生が開始し、D-VHS が録画状態になります。

5 ダビングを停止するには

ダビング中にべんりボタンを押し、で「ダビング停止」を選び、決定ボタンを押す

ダビングが中断されます。
移動モードでは、途中で停止することはできません。

お知らせ

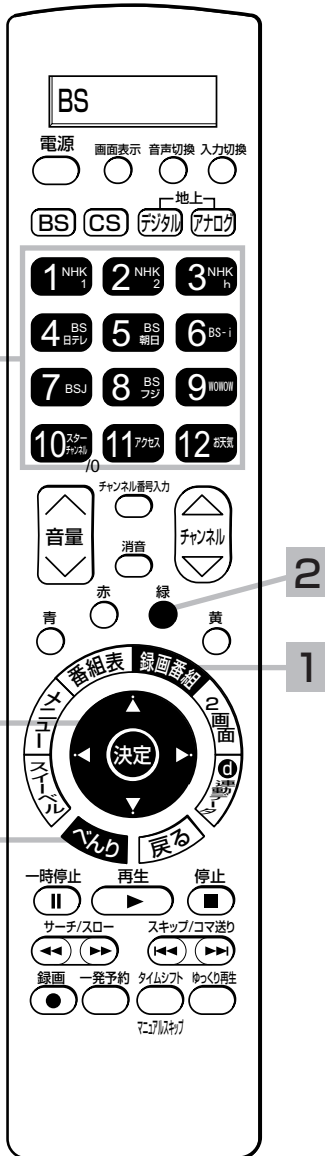
●デジタル放送をダウンコンバート録画した場合には、ダビング(移動)すると、D-VHSビデオテープには番組タイトル、録画チャンネル、録画日時などの録画情報は記録されません。
●デジタル放送の SD 番組録画、ダウンコンバート録画およびアナログ放送録画 (外部入力録画含む) の場合、ダビング (移動) 時の D-VHS の録画モードは STD モードになります。
●移動とは？
著作権保護により、「1 回だけ録画可能 (1 回コピー可)」のデジタル録画番組を、他の機器に移すことを移動といいます。この場合、HDD の録画番組は消去されます。
●ダビング (移動) する場合にケーブル接続できる D-VHS は 1 台です。複数の D-VHS がケーブル接続されている場合には、ダビング (移動) できません。
●移動ができる D-VHS 機器は、本取扱説明書に記載されている機器のみです。他の D-VHS では移動できません。
●ダビング (移動) 中に他の D-VHS などを本機にケーブル接続した場合、ダビング (移動) は中断されます。移動モードの場合、中断前までの録画内容は HDD から消去されますのでご注意ください。
●ダビング (移動) 中に選局操作を行うことで、放送番組を視聴することができます。
●ダビング (移動) 中に予約録画の開始時刻になった場合、予約録画がキャンセルされ、予約録画は実行されません。
●接続した D-VHS の電源がオフ状態の場合や、テープが挿入されていない場合などは、ダビング (移動) できません。D-VHS の電源をオンにし、正しいテープを入れてください。
●ダビング (移動) 時に、スキップ設定が有効になります。スキップ設定された部分は、D-VHS にダビング（移動）されません。移動の場合は、スキップ設定した部分も HDD から消去されます。
●接続する D-VHS の機種により、正しくダビングできない場合があります。
●ダビング (移動) 中に本機の不具合等により、ダビング (移動) が正常にできなかった場合の内容 (データ) の補償や損失、直接、間接の損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

移動対応の D-VHS 機器一覧

メーカー	モデル名・型番
日立	DT-DRX100
日本ビクター	HM-DHX2, HM-DHX1, HM-DHS1
I・O DATA	HVR-HD160M

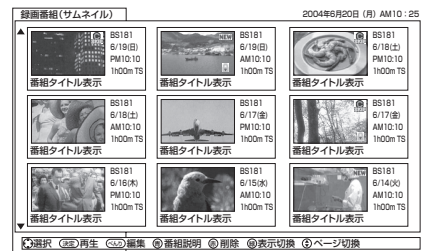
録画した番組を編集する

録画した番組のタイトルを編集する

録画した番組のタイトルを編集することができます。

1 録画番組ボタンを押す

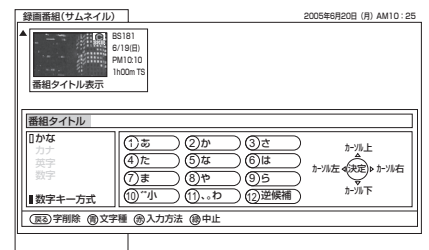
2 サムネイル一覧が表示されるまで緑ボタンを押す

3 で録画番組を選び、べんりボタンを押す

べんりメニュー画面が表示されます。

4 で「タイトル編集」を選び、決定ボタンを押す

タイトル編集画面が表示されます。

5 リモコンでタイトルを入力する

文字入力については 65 をご覧ください。
赤ボタンを押すと入力方法を切り換えることができます。65

6 タイトルが確定したら決定ボタンを押す

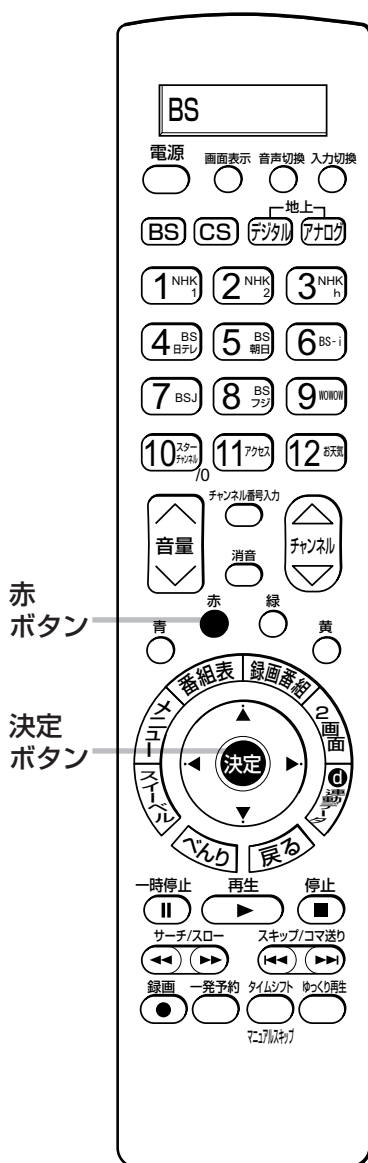
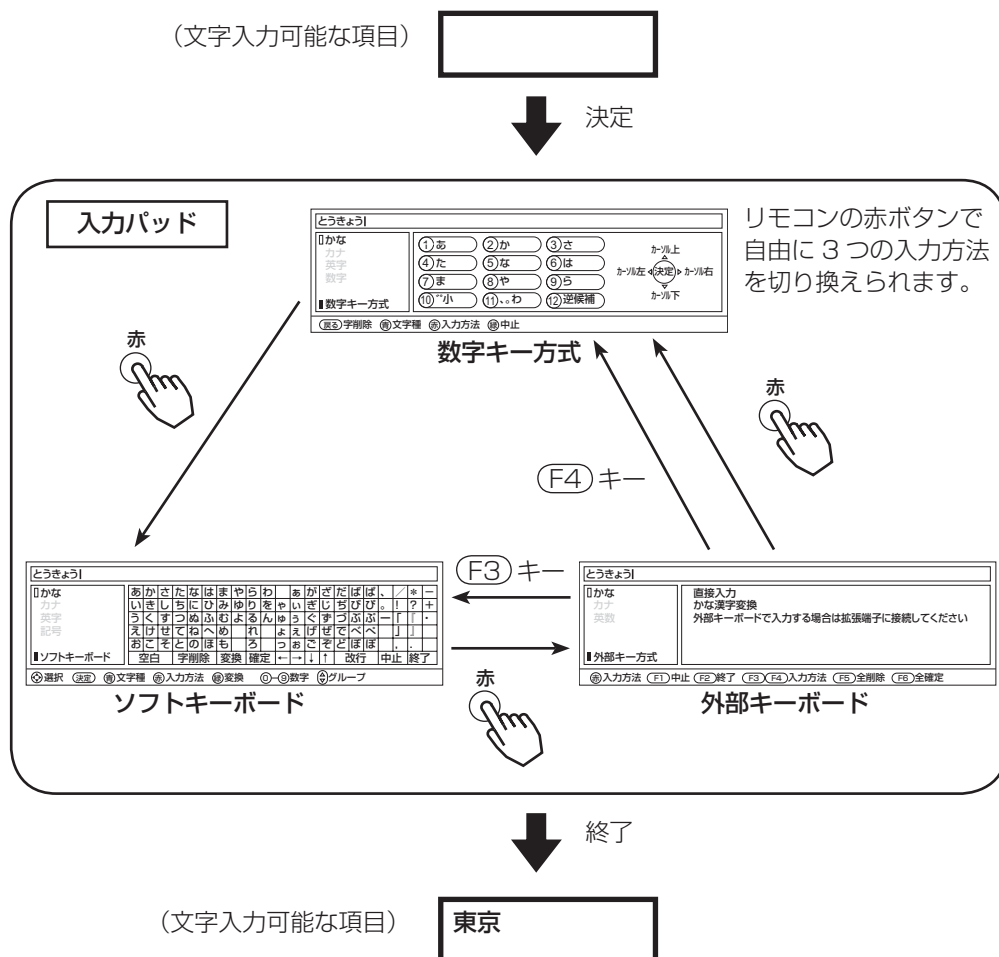
新しいタイトルが番組一覧に表示されます。

お知らせ

タイトル編集は、サムネイル一覧表示中に選択できます。リスト表示からは選択できません。

文字を入力する

本機では 3 つの入力方法が選べます。

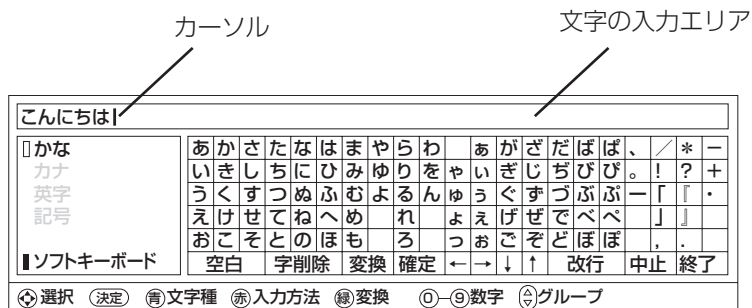
数字キー方式：リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で文字を入力します。
ソフトキーボード：画面に表示したキーボードからを使って文字を選びます。
外部キーボード：拡張端子に接続したキーボードを使って文字を入力します。

文字を入力する画面で、決定ボタンを押すと下図のような「入力パッド」が表示されます。

入力パッドを終了すると、入力パッドで入力した文字が元の画面に入ります。

お知らせ

入力文字数について

入力できる文字数は全角で 40 文字、半角で 80 文字ですが、表示できる文字数は全角で 10 文字、半角で 20 文字になります。

文字を入力する

入力エリアの表示と操作

文字を入力したいとき

文字を入力したい位置にカーソルを移動した後、文字のボタンを押す。

カーソルを動かすには

数字キー方式：◇を押す。
ソフトキーボード：← → ↓ ↑ ボタンを押す。
外部キーボード：カーソルキーを押す。

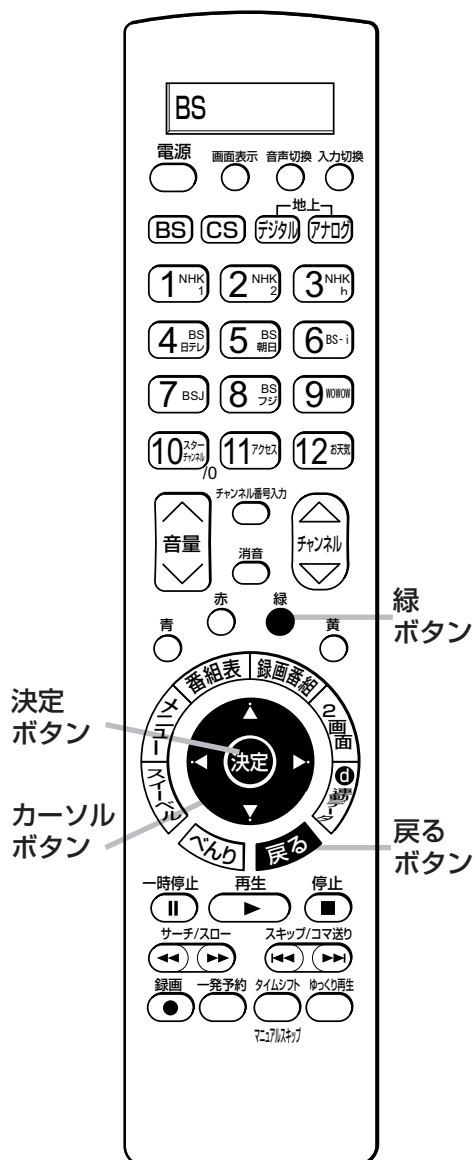
文字を削除したいとき

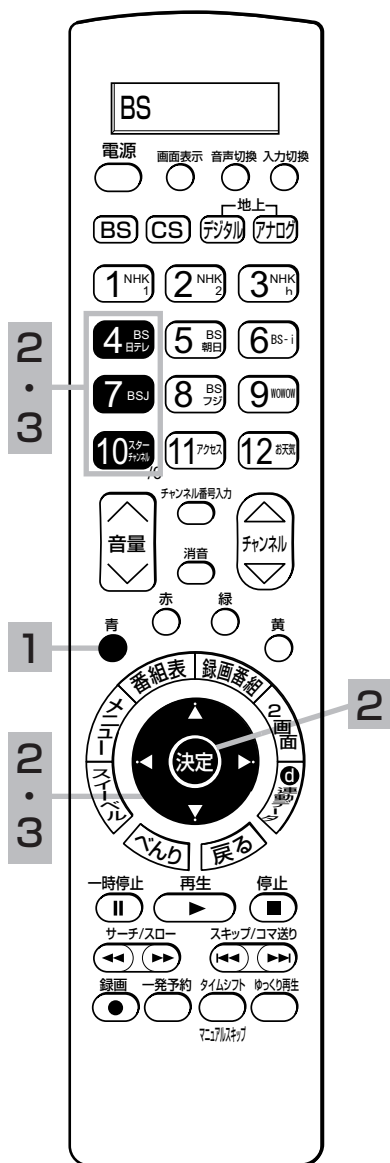
削除したい文字の右にカーソルを移動し、戻るボタンを押す。

入力を終了するとき

数字キー方式：決定ボタンを押す
ソフトキーボード：終了 ボタンを押す
外部キーボード：F2 キーを押す

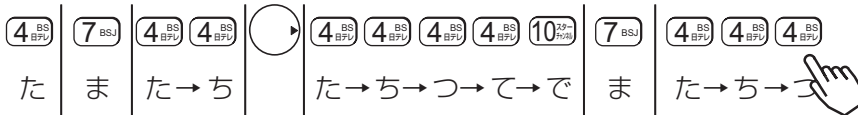
入力した文字をすべて取り消し、元に戻して終わりたいとき

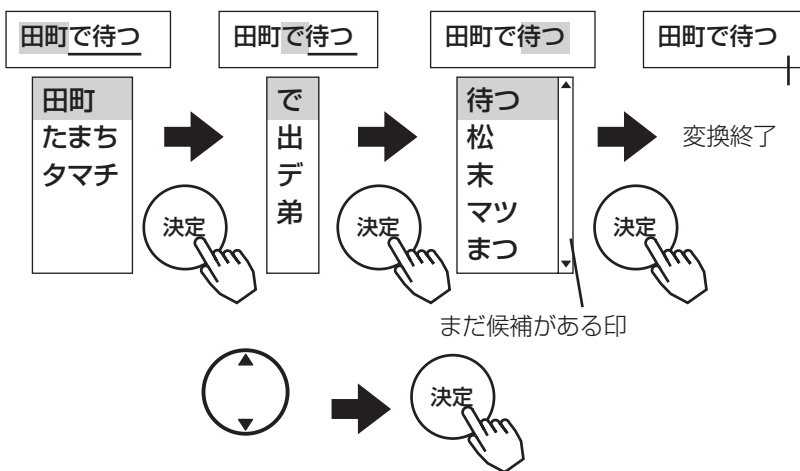
数字キー方式：緑ボタンを押す
ソフトキーボード：中止 ボタンを押す
外部キーボード：F1 キーを押す

数字キー方式で文字を入力する

携帯電話と同じような操作で文字を入力します。

1 入力したい文字の種類を選ぶ

かな
カナ
英字
記号

●青ボタンを押すたびに切り換わります。
●漢字を入力したいときは「かな」を選びます。

2 文字を入力する

3 漢字に変換する

かな文字入力後、漢字に変換されますので漢字候補を選びます。

（次ページにつづく）

メ　モ

2で文字入力後、変換せずに決定ボタンを押すと「かな」のまま確定します。

文字を入力する

数字キー方式で文字を入力する（つづき）

数字キーによる入力可能な文字

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
かな	あいうえお ぁぃぅぇぉ	かきくけこ	さしすせそ	たちつてと っ	なにぬねの	はひふへほ	まみむめも	やゆよ ゃゅょ	らりるれろ	゛ ゜	わをん 、。 (空白) -	
カナ	アイウエオ ァィゥェォ	カキクケコ	サシスセソ	タチツテト ッ	ナニヌネノ	ハヒフヘホ	マミムメモ	ヤユヨ ャュョ	ラリルレロ	゛ ゜	ワヲン 、。 (空白) -	
英字	.@/-_,: ?!;（空白）	ABC	DEF	GHI	JKL	MNO	PQRS	TUV	WXYZ			
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0		#

メ　モ

- ●同じボタンを続けて押すと、表の文字が順番に表示されます。
- ●文字入力中に⑫逆候補ボタンを押すと、逆の順番に表示されます。
- ●かな、カナは全角で入力されます。英字、数字は⑪全 / 半角ボタンで入力を全角 / 半角に切り換えることができます。
- ●濁点 (゛)、半濁点 (゜) がついた文字は、文字を入力した後⑩ボタンを押します。
- ●数字キー方式で入力できない文字は、ソフトキーボードで入力してください。

変換する範囲を変えたいとき

例 /「たかだ」と入力した後◯ボタンを押す。

◯ボタンを押すと変換範囲が「たか」になる。

さらに◯ボタンを押すと「たか」が漢字に変換される。

高田

たかだ

鷹だ

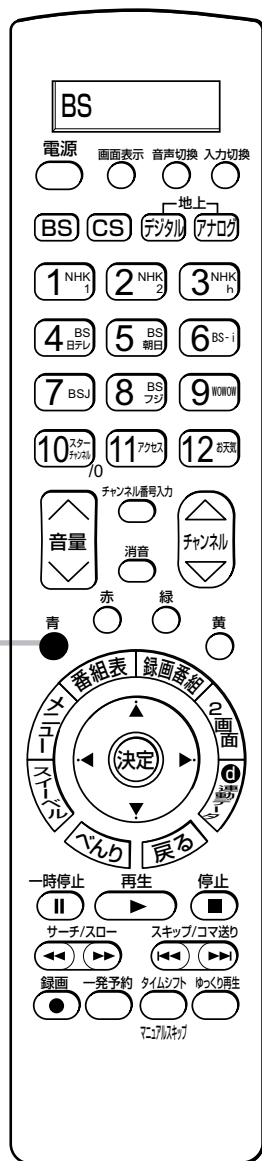
入力予測機能を使う

すでに入力した文字列を簡単に入力できます。

例 / すでに「たかだ」と入力した後で

④を入力した後◯ボタンを押すと、予測候補が表示されます。

◯ボタンで候補を選び、決定ボタンで入力されます。

ソフトキーボードで文字を入力する

1 入力したい文字に応じて青ボタンを押し、キーボードの種類を切り換える

●漢字を入力したいときは「かな」を選びます。

（次ページにつづく）

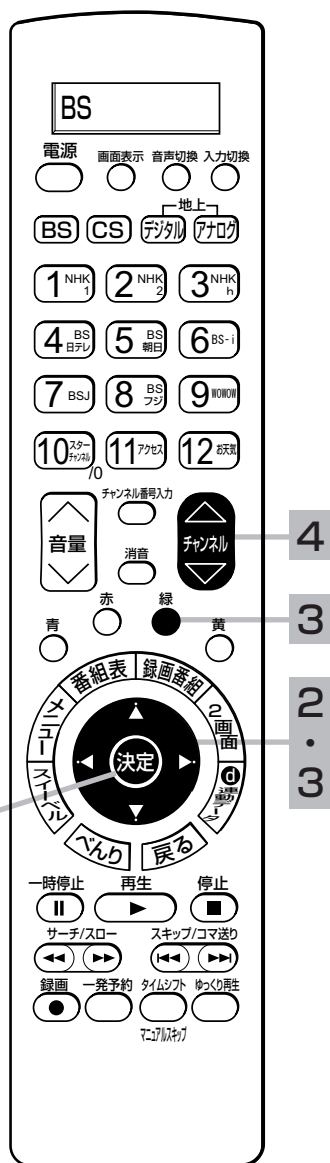
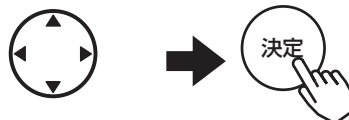
メ モ

●（チャンネル）ボタンを押すと、ソフトキーボードのキーグループ（太線）単位でカーソルを移動できます。

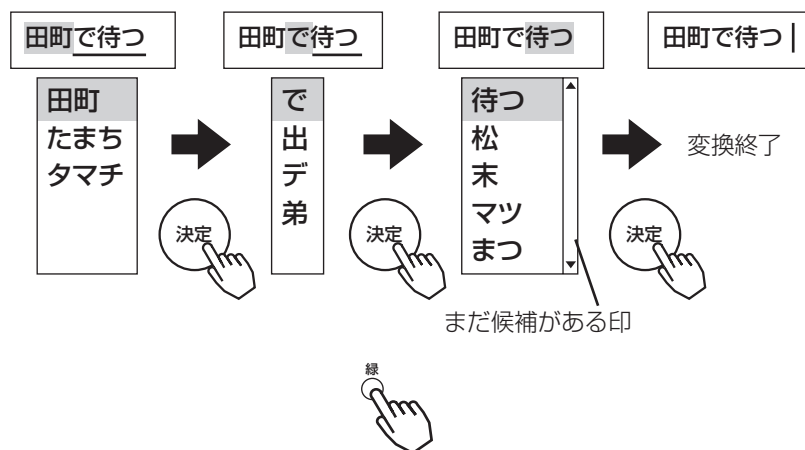
●文字を入力すると、自動的に入力予測の候補が表示されることがあります。

↓を選んで決定ボタンを押すと、予測候補をカーソル選択できるようになります。
次に 確定 を選んで決定ボタンを押します。

文字を入力する

ソフトキーボードで文字を入力する（つづき）

2 で入力したい文字を選んで決定ボタンを押し、文字を入力する

● 「かな」「カナ」は全角文字のみ入力できます。「英字」「記号」では全 / 半ボタンで全角文字と半角文字が切り換えられます。
●どのキーボードでも、「数字」ボタンで数字を入力できます。

3 漢字に変換する

かな文字を入力後、緑ボタンを押すと漢字に変換されるので、キーボードの↓または↑で漢字候補を選び、次に 確定 を選んで決定ボタンを押す。

4 記号を入力する

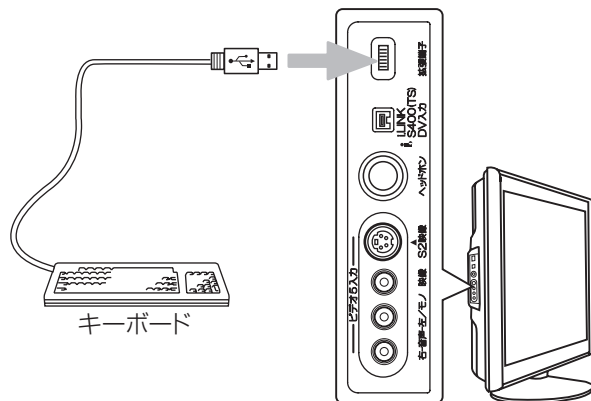
「かな」「カナ」「英字」のキーボードで入力できない文字は「記号」のキーボードで入力します。

チャンネルボタンを押すと、表示される文字が切り換わるので、入力したい記号が表示されたらで選択して、決定ボタンで記号を入力します。

メ　モ

ソフトキーボードで「記号」を選んでいる場合は、チャンネルボタンで表示される文字を切り換えると、すべての漢字を表示させることができるので、読み方が分からない漢字を入力したいときに使うこともできます。

外部キーボードで文字を入力する

1 拡張端子にキーボードを接続する

●接続できるキーボードはUSB端子付きの日本語JISキーボードのみです。(推奨キーボード(①準備編 46)をお使いください。)
●キーボードから文字が入力できなくなった場合は、一度本体の主電源を切り、キーボードを接続したまま電源を入れ直してください。
●推奨キーボード(①準備編 46)以外では、文字入力ができなくなったり、リモコンによる操作ができなくなることがあります。
● JIS標準規格以外の専用キーは使用できません。

2 入力モードを選ぶ

かな
カナ
英数

●文字種は「かな」「カナ」「英数」が選べます。
●入力方法は、「かな」「カナ」を直接入力する「直接入力」と、ローマ字で入力する「ローマ字入力」が選べます。
●漢字を入力したい場合は、「かな」モードで文字を入れてください。
●「英数」のみ全角/半角が選択できます。半角/全角キーで切り換えてください。
●キーボードで入力できない文字は、ソフトキーボードで入力してください。

お知らせ

●「直接入力」モードと「ローマ字入力」モードとの選択は、Ctrlキーとカタカナキーを同時に押すことによって切替えることができます。
●文字種を切替えるには次のキーを押します。
「英数」…英数 キー
「かな」…カタカナ キー
「カナ」… Shiftキーと カタカナ キーを同時に押す。

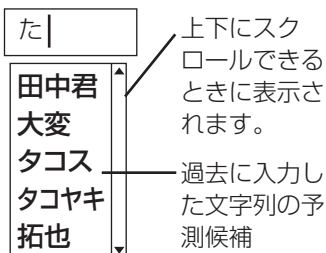
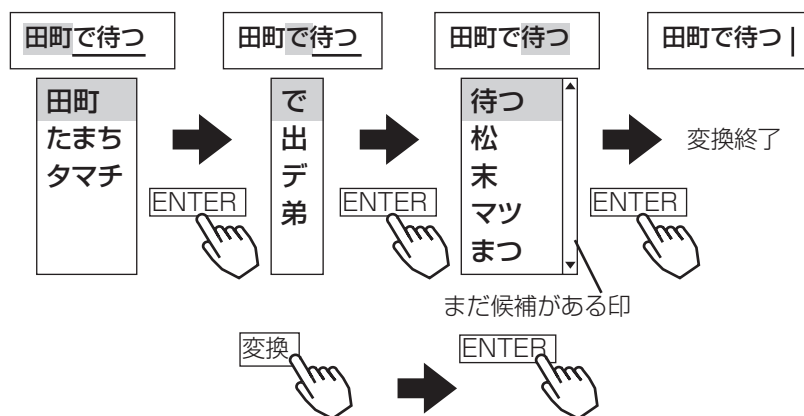
3 文字を入力する

ローマ字入力の場合、ローマ字変換表に従い、英文字を入力してください。

4 漢字に変換する

かな文字を入力後 変換 キーを押すと、漢字に変換されるので、↓ ↑で漢字候補を選びます。

メ モ

●文字を入力すると、自動的に入力予測の候補が表示されることがあります。

↓ ↑を押すと、予測候補をカーソル選択できるようになり、ENTERで候補を確定します。
●候補を変更する必要がない場合、F6 全確定キーを押すと、まとめて変更を確定することができます。

(次ページにつづく)

文字を入力する

外部キーボードで文字を入力する（つづき）

〔ローマ字変換表〕

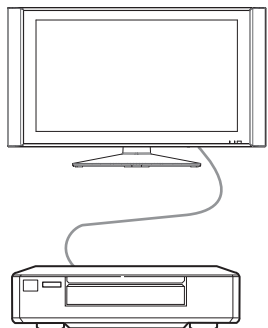
あ	い	う	え	お
A	I (YI)	U (WU)	E	O
か	き	く	け	こ
KA (CA)	KI	KU (CU) (KWU) (QU)	KE	KO (CO)
さ	し	す	せ	そ
SA	SI (SHI) (CI)	SU	SE (CE)	SO
た	ち	つ	て	と
TA	TI (CHI)	TU (TSU)	TE	TO
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU (FU)	HE	HO
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ	いぇ	よ
YA		YU	YE	YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	うぃ		うぇ	を
WA	WI		WE	WO
ん				
Nの次に'（アポストロフィー）、NN、Nの次に子音＋母音				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU (GWU)	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI (JI)	ZU	ZE	ZO
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
PA	PI	PU	PE	PO
っ				
LTU、LTSU、XTU、XTSU、子音を重ねて母音				
ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
LA (XA)	LI (XI) (LYI) (XYI)	LU (XU)	LE (XE) (LYE) (XYE)	LO (XO)
ゃ		ゅ		ょ
LYA (XYA)		LYU (XYU)		LYO (XYO)
ゎ				
LWA (XWA)				

きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
SHA (SYA)	SYI	SHU (SYU)	SHE (SYE)	SHO (SYO)
ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
CHA (CYA) (TYA)	CYI (TYI)	CHU (CYU) (TYU)	CHE (CYE) (TYE)	CHO (CYO) (TYO)
にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
JA (JYA) (ZYA)	JYI (ZYI)	JU (JYU) (ZYU)	JE (JYE) (ZYE)	JO (JYO) (ZYO)
ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
くゎ	くぃ		くぇ	くぉ
KWA	KWI (QI) (QYI)		KWE (QE) (QYE)	KWO (QO)
くぁ				
QA				
くゃ		くゅ		くょ
QYA		QYU		QYO
つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
TSA	TSI		TSE	TSO
ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
FA	FI (FYI)		FE (FYE)	FO
ふゃ		ふゅ		ふょ
FYA		FYU		FYO
ぐゎ	ぐぃ		ぐぇ	ぐぉ
GWA	GWI		GWE	GWO
てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
THA	THI	THU	THE	THO
でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
VA	VI	VU	VE	VO

他の機器の映像を楽しむ

ビデオなどの映像を見る

準　　備

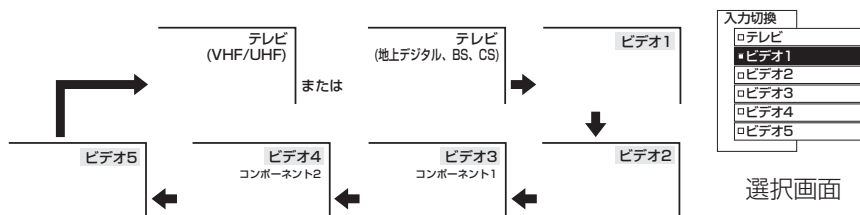
お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
接続についての詳しい別冊の「①準備編」の取扱説明書をご覧ください。34

ビデオ

i.LINK 対応 D-VHS ビデオデッキなどを使用するときは 82 をご覧ください。

1 電源ボタンを押す

前に見ていたチャンネルが現れます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ 1 などのビデオ画面になります。）

2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。（お買い上げ時）
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。

選択画面

- 選択画面が表示されているときは、でビデオ入力を選択することもできます。このときは、決定ボタンを押すとすぐに選択できます。
- 本体で操作する場合は、選択画面は表示されません。また、切り換え順序が異なります。32

3 ビデオを再生する

ビデオの再生中にテレビを見るには

途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンまたは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ 3、4 について

ビデオ 3、4 入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子（D4 映像端子）です。D1 ～ D4 映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
D4 映像端子に接続すると「コンポーネント 1」または「コンポーネント 2」の表示がでます。(①準備編 35, 40, 44)

ビデオ 1、2 について

HDMI/DVI1 または 2 入力は、ビデオ 1 または 2 入力で選択することができます。
HDMI 信号を入力すると「HDMI1」または「HDMI2」の表示がでます。(①準備編 37)
DVI 信号を入力すると「DVI1」または「DVI2」の表示がでます。(①準備編 37)

入力スキップ設定について

ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し（スキップ）させることができます。(①準備編 105)

ビデオ入力表示の書き換えについて

接続する外部機器に合わせてビデオ入力やコンポーネント入力の表示を書き換えることができます。(①準備編 107)

ディテールについて

映像がギラギラしていたり、ノイズが目立つ場合は、「映像」設定で「ディテール」を「切」にしてご覧ください。88

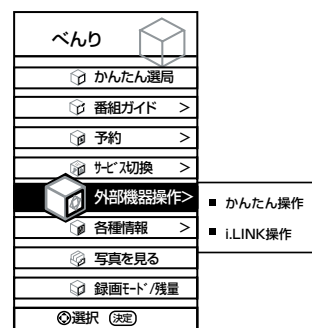
「かんたん操作」で外部機器を操作する

お手持ちの外部機器の基本的な機能を、本機のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作できます。
操作できる外部機器とメーカーについては、(①準備編 108) をご覧ください。

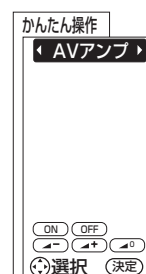
かんたん操作画面の使いかた

準備

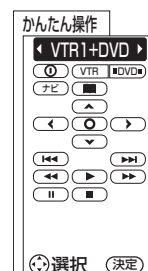
①あらかじめ接続する外部機器を IR コントロール設定画面で登録します。(①準備編 108)
②かんたん操作モードを設定します。107

1 べんりボタンを押し、▲▼で「外部機器操作」を選び、▶または決定ボタンを押す

2 ▲▼で「かんたん操作」を選び、決定ボタンを押す

かんたん操作画面が表示されます。

(テレビに AV アンプが設定されている場合)

3 ◀▶で操作する外部機器を選ぶ

◀▶を押すごとに、下記の入力端子に接続した外部機器が選択できます。

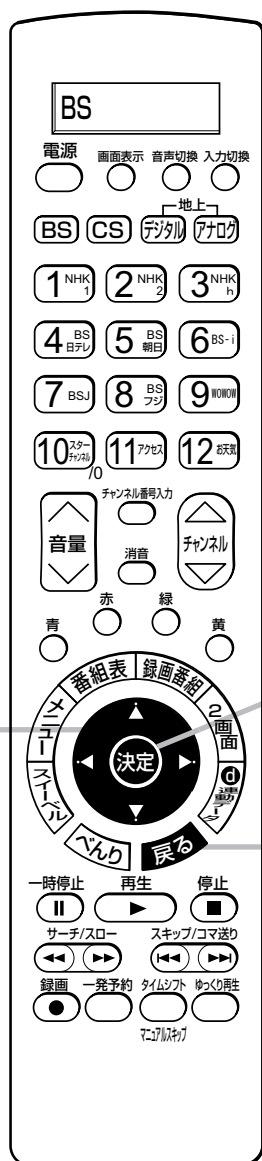
テレビ / ビデオ 1/ ビデオ 2/ ビデオ 3/ ビデオ 4/ ビデオ 5

●入力表示書換設定で各入力端子に設定した外部機器の名称が表示されます。右図はビデオ 1 入力端子に VTR1 + DVD（外部機器 DVD 付き VTR）を設定したときの例です。
●テレビは、地上アナログ放送とデジタル放送を意味します。
●入力スキップを設定したビデオ入力は選ぶことができません。

お知らせ

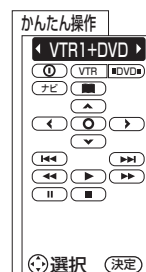
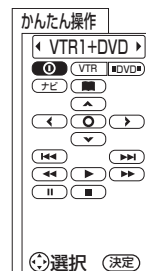
●かんたん操作機能をご使用になるには IR コントロール設定 (①準備編 108) で、ご使用になる外部機器とメーカーを設定してください。
●かんたん操作機能で操作できる外部機器とメーカーは (①準備編 108) をご覧ください。
●予約録画実行中のときは、かんたん操作機能をご使用になれません。
●手順 4 で決定ボタンは長押ししないでください。リモコン送信機と IR コントローラーからのリモコン信号が干渉しやすくなり、外部機器が正常に動作しにくくなることがあります。

（次ページにつづく）

「かんたん操作」で外部機器を操作する

かんたん操作画面の使いかた（つづき）

4 決定ボタンを押す

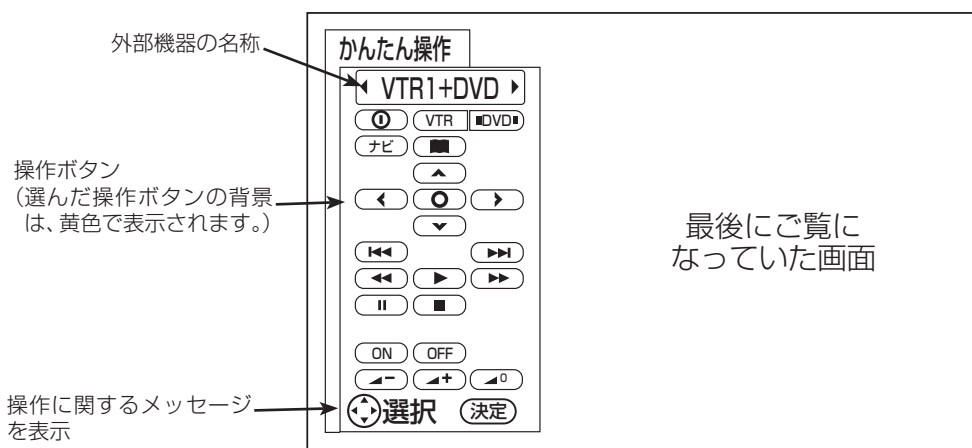
操作する外部機器の映像をご覧になりたいときに押します。
操作する外部機器が接続されたビデオ入力が選択されます。

5 ◯を押し◯で操作ボタンを選び、決定ボタンを押す

◯を押すと、カーソルが操作ボタンに移ります。
決定ボタンを押すと IR コントローラーのリモコン発光部から外部機器を制御する信号が送信されます。

6 戻るボタンを押す

●かんたん操作画面が解除されます。
●チャンネルボタン、チャンネルアップボタン、入力切換ボタンを押すと、かんたん操作画面は解除されます。
●メニューやべんりなど他のメニュー画面を出したときもかんたん操作画面が解除されます。

メ　モ

●入力端子「テレビ / ビデオ」で外部機器に「AV アンプ」を設定すると、入力端子「ビデオ 1」～「ビデオ 5」でも共通で使用することができます。（①準備編 108）
●操作ボタンのチャンネルアップダウン（⊕、⊖）、音量アップ / ダウン（◢+、◢-）は、決定ボタンを押す毎に 1 チャンネルまたは 1 ステップずつ変化します。
●操作ボタンの巻戻し（早戻し）/ 早送り（◀◀、▶▶）、スキップ（I◀◀、▶▶I）は、決定ボタンの長押しによる連続操作に対応していないため、外部機器付属のリモコン送信機と同じ操作ができないことがあります。
●選択された外部機器または操作ボタンは、チャンネルまたは入力の切り換えを行うと、外部機器は「テレビ」に戻ります。

かんたん操作画面の説明

操作ボタン一覧

⏻：電源	▶：再生	⊕：チャンネルアップ
📖：メニュー	⏸：一時停止	⊖：チャンネルダウン
▲▼◀▶：カーソル	■：停止	↘：衛星切換
○：決定	●：録画（VTR機器のみ）	⓪~⑨：チャンネル番号
ナビ：ナビ	◀◀：巻戻し/早戻し	⏻：アンプ電源（AVアンプ）
VTR / DVD：VTR/DVD切換	▶▶：早送り	◢+：音量アップ（AVアンプ）
HDD / DVD：HDD/DVD切換	⏮：一つ前へスキップ	◢−：音量ダウン（AVアンプ）
	⏭：一つ先へスキップ	◢0：消音（AVアンプ）
		ON：電源ON（AVアンプ）
		OFF：電源OFF（AVアンプ）
		↘：入力切換（AVアンプ）

リモコンスルー機能で操作する

本機に接続した外部機器を離れた場所に設置したときに、画面を見ながら外部機器を操作したいときに、外部機器付属のリモコン送信機を、本機のリモコン受信窓に向かって操作します。
本機能をご使用になるときは、「かんたん操作」の設定を「2」に設定します。 107

お知らせ

- ご使用の外部機器によっては、リモコンスルー機能で操作できないことがあります。このようなときは、外部機器のリモコン受信窓に向かって操作してください。
- 本機と接続した外部機器を近い位置に設置したときなどに、本機に向かって操作したリモコン信号とIRコントローラーからのリモコン信号とが干渉して正常に動作しないことがあります。このようなときは、「かんたん操作」の設定を「1」にして 107 、ご使用の外部機器付属のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作してください。

デジタルカメラの画像を見る

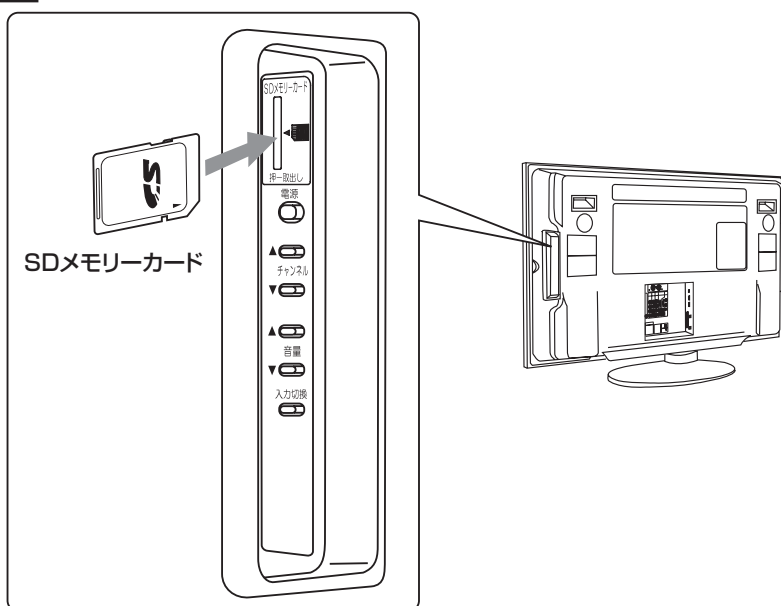
本機は、デジタルカメラでSDメモリーカードに
記録した静止画像を再生して、テレビ画面でご覧になることができます。(この時、音声は出力されません。)

お守りください

SDメモリーカード（またはマルチメディアカード）以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

SDメモリーカードを入れる

1 **SDメモリーカードを挿入する**

SDメモリーカードには裏表があります。表面を本機の背面側に向けて（切り欠きを下にして）、まっすぐ奥まで差し込んでください。

SDメモリーカードの抜きかた

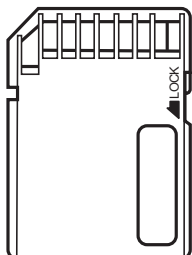
SDメモリーカードの抜きかた

挿入されているSDメモリーカードを奥に押して指をはなせば出てきます。

お知らせ

SDメモリーカードについて

●ＳＤメモリーカード（SD™）は、著作権保護機能を内蔵したほぼ切手サイズの小型メモリーカードです。

表面 **裏面**

●マルチメディアカード（MultiMediaCard™）との上位互換があるため、本機ではSDメモリーカードと同様にマルチメディアカードもご使用になれます。

●メモリーカードに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。

お守りください

SDメモリーカードの取り扱いについて

●メモリーカードは精密機械です。曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

●メモリーカードの金属部（電極）に直接触れたり、汚れをつけたりしないでください。

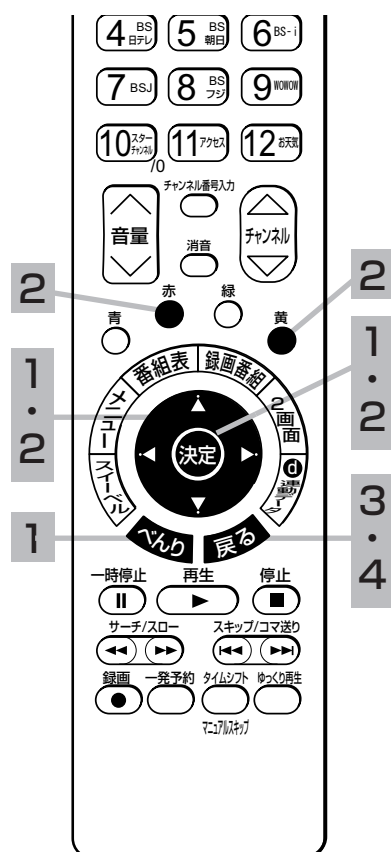
●メモリーカードを加工したり、分解したりしないでください。

●メモリーカードに水をかけたり、高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用・保管は避けてください。

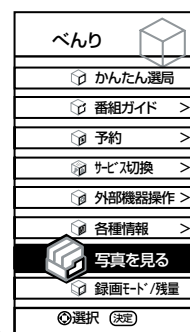
●メモリーカードの持ち運びや保管時は、静電気や電気的ノイズの影響を受けないように注意してください。静電気や電気的ノイズの影響を受けると、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。

●メモリーカードの画像を見ているときは、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

写真を見る

本機ではデジタルカメラなどで記録した画像データを表示することができます。
表示できる画像データは、DCF 規格の画像データです。

1 べんりボタンを押し、◇で「写真を見る」を選び、決定ボタンを押す

写真を見る画面で画像データのサムネイル一覧が表示されます。

べんり
かんたん選局
番組ガイド ＞
予約 ＞
サービス切換 ＞
外部機器操作 ＞
各種情報 ＞
写真を見る
録画モード/残量
選択 決定

「カードを挿入してください」とメッセージが表示された場合は、メモリーカードが挿入されていることを確認してください。

2 ◇でサムネイルを選び、決定ボタンを押す

選択したサムネイルが 1 画面表示されます。

●画像データのサムネイルを最大 9 個表示します。10 枚以上の画像データが SD メモリーカードに登録されているときは、下端から◇ボタンで表示送りすることができます。
●黄色ボタンを押すごとに、90 度ずつ時計まわりに回転します。
●サムネイルを選択して赤ボタンを押すと、スキップ設定がされます。スキップ設定された画像データはスライドショーでは表示されません。
●数字ボタンで 3 桁の数字を入力すると、指定したサムネイルを選択することができます。12 枚目を選択するときは、[1]、[2]と押します。総数が 100 枚以上のときは、[10/0]、[1]、[2]のように 3 桁で入力します。

3 戻るボタンを押す

写真を見る画面に戻ります。

4 戻るボタンを押して、メニューを消す

写真を見る画面を終了し、放送画面に戻ります。

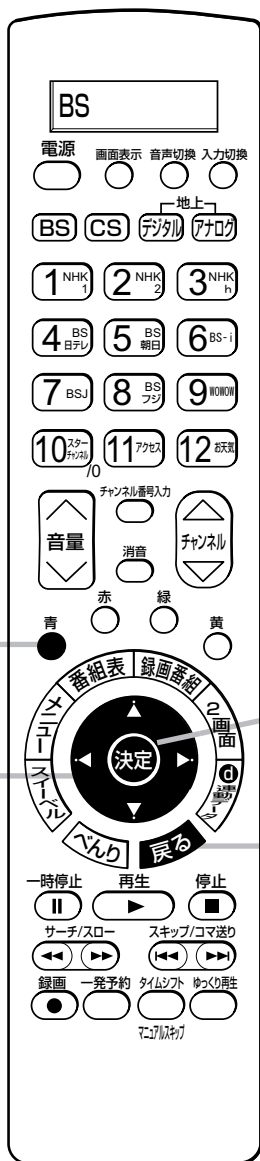
お知らせ

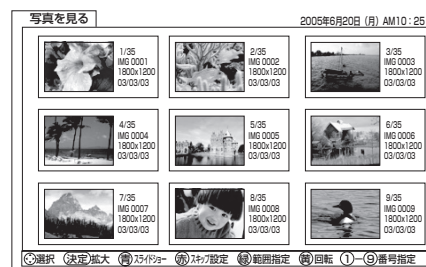
●水平方向の画素数が 3072 画素、垂直方向の画素数が 2304 画素をこえる画像は表示することができません。
●表示できる画像データは 999 個までです。
● DCF(Design rule for Camera File system) とは、デジタルカメラの統一フォーマットとして制定された画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。
●サムネイルがない画像データはサムネイルが表示されません。
●パソコンなどで編集した画像データや画像データの種類によっては表示されないことがあります。
●拡張端子に接続したメモリーカードリーダーやデジタルカメラに挿入されたメモリーカードの画像データも同様の操作で表示することができます。拡張端子に接続できる機器は (①準備編 46) をご覧ください。
●大切なデータは、バックアップを取って置くことをおすすめします。

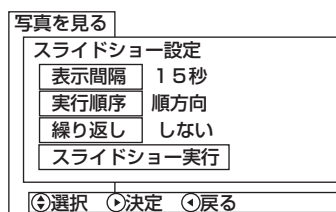
デジタルカメラの画像を見る

スライドショーを表示する

画像データを自動的に切り換えて表示することができます。

写真を見る 79 を表示させ、スライドショーを開始したいサムネイルを(↕)または数字ボタンで選びます。

1 青ボタンを押す

スライドショー設定画面が表示されます。

2 (↕)で設定したい項目を選び、(→)または決定ボタンを押し、(↕)で設定する

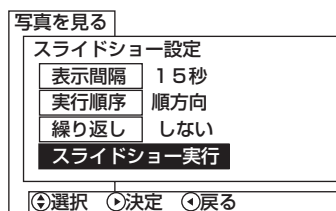
写真を見る
スライドショー設定
表示間隔 15秒
実行順序 順方向
繰り返し しない
スライドショー実行
選択 決定 戻る

(↕) 設定項目	(→) ➡ (↕)	設定のポイント
表示間隔（秒）	5/10/15/20/25/30/35/40/45/50/55/60	画像を表示し終わってから次の画像を表示し始めるまでの時間を指定することができます。
実行順序	順方向 / 逆方向	サムネイルに表示されている番号が大きくなる方向に切り換えるときは、順方向に設定します。
繰り返し	する / しない	「する」に設定すると、最後の画像データを表示した後は、自動的に最初の画像データに戻って表示が続けられます。

3 設定が終了したら(←)または決定ボタンを押す

4 (↕)で「スライドショー実行」選び、決定ボタンを押す

スライドショー（自動設定）が開始されます。

5 戻るボタンを押す

スライドショーを終了し写真を見る画面に戻ります。

お知らせ

- ●緑ボタンを押すとスライドショーで表示する範囲の指定ができます。
- ●緑ボタンで設定した表示する範囲の指定は、スライドショーを終了すると解除されます。
- ●スキップと回転の設定内容は、記録されている内容が異なる SD メモリーカードを挿入するまで保存されます。

i.LINK 接続機器を操作する

i.LINK について

**i.LINK の規格や特長について説明します。i.LINK を使って操作する前にお読みください。
なお、i.LINK を使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については次頁をご覧ください。**

i.LINK とは

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェース IEEE1394 の呼称です。IEEE1394 は米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100Mbps ／ 200Mbps ／ 400Mbps の転送速度があり、転送速度は i.LINK 端子の周辺にそれぞれ S100、S200、S400 と表示されます。本機では最大 400Mbps の転送が可能なため、S400 と表示されています。
また、i.LINK は直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせずに機器を接続していくことができます。ケーブル 1 本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できる i.LINK は、今後さまざまなデジタル AV 機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

リンク（LINC）とは

「リンク」をするとは、操作したい相手の機器を 1 台選ぶことを意味します。
ケーブルで接続しただけでは i.LINK 対応機器を操作したり、映像や音声などのデータをやりとりすることはできません。操作する前に、必ず相手の機器をリンクしてください。

- **i.LINK 対応機器の録画中に、i.LINK で接続している他の機器の電源を切ったり、別の機器を i.LINK で接続したりしないでください。録画中のデータが途切れることがあります。**
- **リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。**

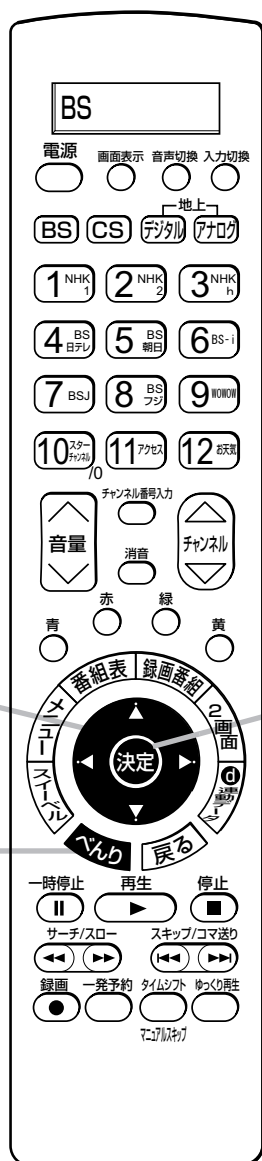
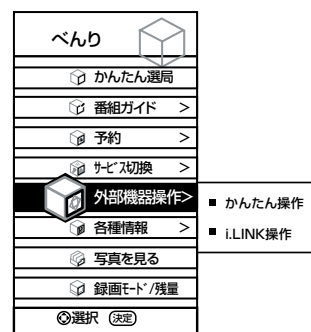
本機と接続して動作する i.LINK 対応機器

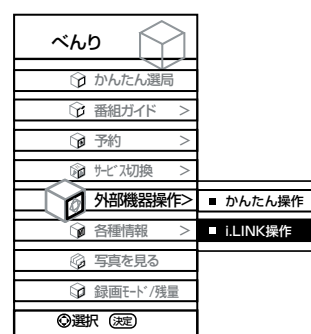
本機では、下記の i.LINK 対応機器と接続したときの動作を確認しています。

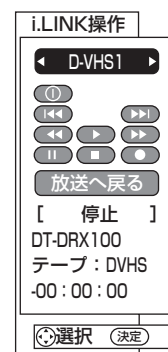
D-VHS デジタルハイビジョンビデオデッキ ：DT-DRX100（日立製）
：HM-DHX2（日本ビクター製）
：HM-DHX1（日本ビクター製）
：HM-DHS1（日本ビクター製）
Rec-POT M デジタルハイビジョンハードディスクレコーダー：HVR-HD160M(I·O DATA 製)
D-VHS モードで、ご使用ください。

本機と i.LINK 対応機器との接続については、別冊の設置・準備編取扱説明書「i.LINK 対応の D-VHS ビデオデッキなどとの接続する」(①準備編 36) をご覧ください。

D-VHS ビデオデッキなどを操作する

i.LINK ケーブルでつないだ i.LINK 対応 D-VHS ビデオなどを本機で操作したり、映像や音声などのデータをやりとりするには、必ず操作したい機器をリンクしてください。

1 べんりボタンを押し、（上下）で「外部機器操作」を選び、（右）または決定ボタンを押す

2 （上下）で「i.LINK 操作」を選び、決定ボタンを押す

i.LINK 操作画面が表示されます。

3 （左右）で操作したい機器を選び、決定ボタンを押す

相手機器をリンクします。

●登録した機器が 3 台までのときは、自動的に操作パネルに D-VHS1 ～ D-VHS3 が登録されています。
表示される名称（接続名）は、本機に接続した順に自動でつけられています。

●操作パネルに表示されている機器をリンクできない場合、i.LINK 機器設定画面（①準備編 110）で実際に接続されているかをご確認ください。

●再生状態から停止しても本機では、i.LINK から入力状態のままになっています。
「放送へ戻る」を選択し、決定ボタンを押すとデジタル放送に戻ります。

お知らせ

●本機で操作パネルに登録できる i.LINK 対応の D-VHS ビデオなどは 3 台までです。
● 3 台以上の機器が接続されている状態でも、i.LINK 機器設定画面 (①準備編 110) で操作パネルへの登録を解除していて、登録台数が 3 台に満たないときは、新たに接続した機器が自動的に登録されます。
●接続する機器によっては、接続する機器の電源が入っていないと正しく接続できない場合があります。そのような時は、接続機器の電源を入れてから接続してください。
●操作ボタンを選んで決定ボタンを押してから、実際に表示が現れるまで数秒かかる場合があります。
●操作ボタンを使用して操作する場合と、ビデオのリモコンで操作する場合とで動作が異なる場合があります。
●登録機器がないときは、操作ボタンなどが表示されている部分は表示されません。
●リンクしている機器がないときは、操作ボタンなどは選択できません。操作したい機器を必ずリンクしてください。
●リンクしている D-VHS ビデオなどを、ビデオのリモコンなどで直接操作したい場合、操作内容に応じて表示が変わります。ただし、操作パネルにない機能は、正しく機器の状態が表示されないことがあります。
●リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。
●リンクしていない機器を操作することはできません。
●操作する機器の取扱説明書をよくお読みください。
●リンクしている D-VHS などからハードディスクへの録画はできません。
●「放送へ戻る」ボタンはリンクしている機器が再生中の場合には動作しません。
● DV 方式デジタルビデオカメラの機種によってはi.LINK 接続できません。その場合は映像･音声ケーブルで接続してください。
● DV 方式デジタルビデオカメラを可変速再生中または可変速再生から再生に戻したときなどに音声にノイズが出る場合がありますが、故障ではありません。

i.LINK 操作画面の説明

操作ボタンは◯で選び、決定ボタンを押すと、操作が始まります。

D-VHS ビデオ接続時の表示例

操作ボタン一覧

⏻	：電源
▶	：再生
❙❙	：一時停止
■	：停止
●	：録画
◀◀	：巻戻し/早戻し
▶▶	：早送り
❙◀◀	：一つ前へスキップ
▶▶❙	：一つ先へスキップ